

【 レジメン登録番号:SB-20e 】

〈 Pertuzumab + Trastuzumab + DTX 療法(PAXMAN用) 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)	
			1	 21
ドセタキセル	75mg/m ²	div	○	
パージェタ	初回 840mg 以降 420mg	div	○	
トラスツズマブBS	初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div	○	

【1コース期間： 21日】

【総コース数:進行再発→制限なし

術前術後療法→3～4コース。

【適応癌種：乳癌】

その後パーゼタ・トラスツズマブBSのみ合計12ヶ月間(最大18コース)投与する。】

【時期：術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休業時の再開基準

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 6.6mg	div (15分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	ドセタキセル 75mg/m ²	div (60分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.4	パージェタ 初回 840mg 以降 420mg	div (初回60分で (以降30分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.5	生理食塩水 100mL	div (初回60分で (以降30分で)
Rp.6	トラスツズマブBS 初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div (初回90分で (以降30分で)
	生理食塩水 250mL	

【参考文献：パージェタ・トラストズマブBS・ドセタキセル添付文書、

Annals of Oncology 29:646–653;2018、N Engl J Med 2017;377:122–31】

【備考①：前回投与日から6週以上経過した場合、再ローディング可。

【備考②：パージェタ・トラストズマブBSの減量不可。

【備考③：術前術後療法の場合の投与方法は、総コース数参照。

進行再発の場合ドセタキセル中止後、パージェタ・トラスツズマブBSのみでも継続可。

【変法情報: